



2022年12月  
第732号

日本基督教団 平塚教会  
発行人 平塚教会  
編集人 中山洋司  
〒254-0045 平塚市見附町6-18  
電話 〇四六三(32)八八三一



# 教会規則を変えます

平塚教会牧師 北川一明

人は皆、上に立つ権威に従うべきです。神に由来しない権威はなく、今ある権威はすべて神によって立てられたものだからです。

(ローマー三・1)

## 《平塚教会の諸規則》

教会の墓地使用規定は、今のままでは墓地を維持できなくなる心配があります。幼稚園の理事会は、責任範囲がはっきりしていません。比企キヨ記念奨学金規定は、規定通りに運用するとはほとんど利用できないのが実情です。平塚教会では他住・不在陪餐会員という立場を設けました。なかなか礼拝に出ることができない人が、現住陪餐会員とは別の形で教会の責任を担えるようにとの意図です。これは試行中で、まだ規則の文章には反映されていません。

これらのことから規則の変更が必要と考えています。

## 《規則の大切さ》

規則を変えなくても教会生活で困ることはないかもしれませんが。細かな規則は煩わしく感じられます。しかし規則は大切です。たとえば：

私たちの教会附属幼稚園は、行政の支援のもとで運営しているので、法令を遵守するのは当然です。

園の先生方がたいへんよくやってくださって、良質の幼児教育ができています。ただ若いクリスチャンが激減した現代日本にあってクリスチャン教員はわずかです。そこで教会は幼稚園の教職員に対して「教会附属なんだから日曜の礼拝には出るべきです」と礼拝出席を促したくなるでしょう。それがパワーハラスメントと受け取られては「犯罪」です。

こうした環境下で幼稚園教育を続けて行くうちに、教会が何のために附属幼稚園を運営しているのかがはっきりしなくなる危険があります。

大切な規則の中には、まず「目的」が掲げられているものがあります。活動の目的が文字で明確になっていたら、いつでも本旨に立ち戻ることが出来るのです。細かな決めごととも目的達成のために作られます。

## 目次

教会規則を変えます	牧師 北川一明	…1
イエス様がお生まれになったところ	教会学校校長 庄司幸夫	…3

【教会ニュース】		
三年振りに墓前礼拝		
湘南キリスト教墓苑で行われる		…4
編集後祈		…4

## 《国内法・教団規則を遵守する》

使徒ペトロは国会に証人喚問された時がありました。彼は国会で「人間に従うよりも神に従わなくてはなりません（使徒言行録五29）」と言い放ちました。それにもかかわらず、私たちは法令を守ります。

それは神よりも国家の方が偉いからではありません。権力からの迫害が怖いからでもありません。

日本基督教団は、宗教法人登録することを神の「くすしき摂理（日本基督教団教憲前文）」と信じました。法人格としての義務を果たすことを前提に、自分から進んで宗教法人にしてみらったのです。自分で約束したことは守りましょう。

平塚教会も、日本基督教団の教会であることを自ら選び取っています。ですから私たちは法令を遵守した上で、日本基督教団の規則も守ります。

## 《規則を守れない場合》

規則を守ると神と良心に反する場合はどうでしょう。信徒個人については教団戒規施行細則第三条4で教団の考え方が分かれます。法令に違反すれば、ペトロと同じように行政から罰を受けますが、信仰者

としての立場と名誉は神の前では守られます。

戦争が起きた時など「国家は神に逆らっている」と、組織としての教会がそう考えた場合はおおごとです。それでも今の日本の主権者は、他でもない私たち国民です。愛と忍耐をもって、法律の範囲内で同胞をただそうとするのが多くの場合は正解でしょう。最悪の場合は、最悪の二者択一をせざるを得ません。

日本基督教団が腐敗し信仰に反するようになった場合は、教団から離脱すれば教団規則は関係なくなりません。平塚教会は、宗教法人格を保ったままで「単立教会」になります。ただし、それで教会の信仰を変わず守り続けられるのか、将来の牧師をどうやって獲得するのかという課題が残ります。

## 《規則変更の方向性》

平塚教会は、宗教法人として国から、また日本基督教団の教会として教団から認められています。教会規則の本則を変更する場合は、県と教団の認証を受けなければなりません。

その『平塚教会規則』は非常に簡素なも

のでした。県や教団からの縛りが少なく平塚教会が自由に自由に決める範囲が大きいということですが、平塚教会の諸先輩がたの知恵でしょう。

改定を考えなければならないのは「施行細則」と、『平塚教会結婚式、葬儀規定』『平塚教会墓所管理規定』『比企きよ記念奨学金運営規約』『平塚教会慶弔規定』です。『理事会規則』は新たに制定が必要で

す。これらの規則を変更・制定する場合は、日本の法令や教団の規則、さらに届け出ている平塚教会規則と矛盾しないものになります。それでも細則や諸規定は届け出は不要で、平塚教会内で独自に決めて良いものです。

教会総会では二〇二二年度上半期のうちに新・墓地規定をお示しすると申しました。右に述べたような規則の建て付けから検討していたところ、間に合わなくなってしまういました。申し訳ありません。

諸規則は、制約はなるべく増やさないようにつつも、目的が明確でしかも持続可能な運営に資するよう考えております。

## イエス様がお生まれになったところ

Ⅱ 親子礼拝説教よりⅡ

教会学校校長 庄司幸夫

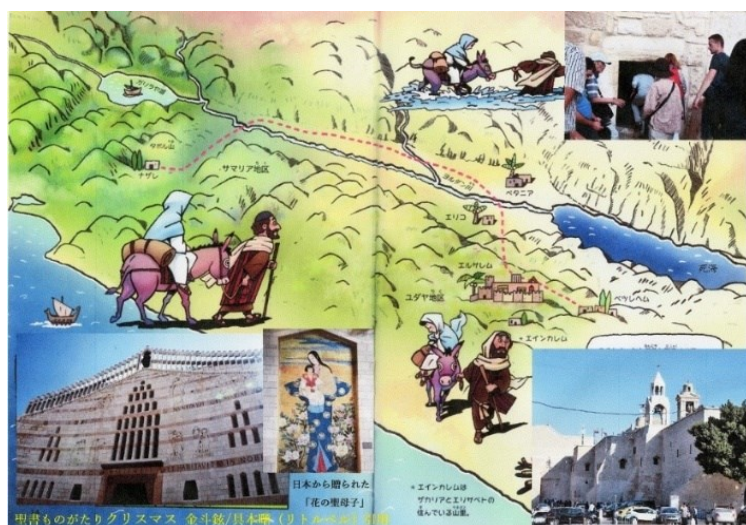
昨年のアドベントでの、私のお話しを紹介させていただきます。

クリスマススの朗読劇を例年行ってきましたが、イエス様が誕生したところは現在どうなっているのでしょうか。

イエス様が生まれたのは、地中海の一番奥まった所にある、現在のイスラエルという国です。今から二千年以上前、皇帝アウグストゥスが地中海一帯を統一してローマ帝国をつくった時代、日本では弥生時代中期、東北地方でも米が作られ、地方をまとめる人がでるようになった頃です。

イエス様のお父さん、お母さんのヨセフとマリアは、ナザレという町に住んでおり、そこに天使が現れ、「あなたは身ごもって男の子を産むでしょう」と告げられました。天使が現れたとされる所には、「受胎告知教会」が建てられ、その外壁にはイエスの生涯を記した福音書を書いた4人が描かれており、内壁には世界中から贈られた聖母子の絵などが飾られております。

また、ヨセフにも天使が現れ、「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。」と告げられたとあり、力と



勇気を与えられたヨセフは、今日読んだ聖書（ルカ二章四・五節）にあるように、身ごもっているマリアと一緒にダビデの町ベツレヘムへ旅立ちました。

ナザレとベツレヘムは、およそ百五十キロ離れています。平塚から東京までが六十五キロですから、その倍以上あります。

ナザレはガリラヤ湖という小さな湖の近くにあり、ベツレヘムは死海という大きな湖の方にあります。「海拔マイナス四百三十mと地表で最も低く、塩分が海水の十倍もあります。「人が湖に浮いて雑誌を読んでいる写真」を見たことがあると思いますが、そこが死海です。

ガリラヤ湖と死海はヨルダン川でつながっており、その間にはサマリア人が住んで居る地区があります。「善きサマリア人」で聴いていると思いますが、その頃、サマリア人とユダヤ人は良い関係ではなかったようです。サマリアを避けてヨルダン川の向こう側を行ったか、川を舟で渡ったかも知れませんが。身重のマリア様も一緒ですから、ロバを使っても、一週間位は掛かったでしょう。

ベツレヘムまであと少しのところ、赤ちゃんが生まれそうになったので、近くの馬小屋に一夜の宿をとり、イエスさまが生まれました。

その馬小屋といわれる洞窟跡には世界で最も古い教会のひとつの「聖誕教会」が

あり、イエス様が生まれたとされる場所に行くには「謙虚の門」と云われる小さな入口を通らなければなりません。主なる神様のひとり子として、イエスさまが多くの苦難の末に生まれました。

今ここにいる私たちのために、イエスさまを神様がおつかわしになった事を喜ぶとともに、神様のひとり子なのに、王宮ではなく飼ひ葉桶に寝かされました。この「決して高ぶらない姿」をいつも覚えていきましょう。

皆さまも聖書は基より、心にとまった様々なお話しを親子礼拝でしていただき子どもたちと親しく交わり、キリスト者の喜びを伝えていただければ感謝です。

### 【教会ニュース】

#### 三年振りに墓前礼拝

#### 湘南キリスト教墓苑で行われる

竹林に囲まれた坂道を下り、平塚市びわ青少年の家に近づく、道路際の木々の梢に生えているヤドリギが、「ようこそいらっしゃい。おひさしぶりですね。」と参列者を迎えてくれました。

十月三十日、総勢三十三名は秋晴れの下三年振りに湘南キリスト教墓苑を訪れ

した。坂上の駐車場から墓苑を横切り天路舎まで続く通路は、緩やかなアスファルトのスロープになり、車椅子でも墓参できるように改修されていました。



墓前礼拝は、八名の方の遺骨が墓碑の前に置かれ、北川一明牧師の司式により行われました。その中で、角田家の御遺骨（五体）は、ご遺族よりご挨拶があり、東京都谷中にある実家のお墓に移ることとなりました。そして、新たに比企家の御遺骨（三

体）が墓苑に納骨されました。

コロナ禍での墓前礼拝のため、会食や歓談は行いませんでしたが、参列者の簡単な自己紹介があり、遠くは千葉県習志野市より来られた方もいらっしゃいました。そして、車椅子で出席して下さった中村義さんが百四歳とご紹介されると、皆様から歓声と拍手が湧き起こってききました。

この午後のひと時を、参列していただきました皆様、この日を準備して下さった方々、そして湘南キリスト教墓苑に導いて下さいました信仰の主に感謝いたします。

### 編集後祈

教会と幼稚園は、小さな花壇で囲まれています。棟方充子姉にお聞きしますと、花壇の世話をしていると道を行きかう人から、「これは何の花ですか？いつも楽しみにしているのよ。」「散歩の度にながめているの。」「と、時折声をかけられるそうです。小さな花壇が、道を行きかう人の小さなオアシスになっていくのですね。

普段の水やり等は、坪田裕美姉がご奉仕をして下さっているとのこと。感謝いたします。なおおとずれには、毎号教会周辺に咲く花の写真をシリーズで掲載中です。

(編集子)